

FUJITSU Server PRIMERGY オプション製品

システム構成図 (留意事項編)

本文中のOS名称は、次のように略して表記します。

OS名	略称	
Windows Server® 2012 R2 Standard	WS12RS	Windows
Windows Server® 2012 R2 Datacenter	WS12RD	
Windows Server® 2012 R2 Foundation	WS12RF	
Windows Server® 2012 R2 Essentials	WS12RE	
Windows® Storage Server 2012 R2 Standard	WSS12RS	
Windows Server® 2012 Standard	WS12S	
Windows Server® 2012 Datacenter	WS12D	
Windows Server® 2012 Foundation	WS12F	
Windows Server® 2012 Essentials	WS12E	
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	SBS11E	
Windows Server® 2008 R2 Standard	WS08RS	
Windows Server® 2008 R2 Enterprise	WS08RE	
Windows Server® 2008 R2 Datacenter	WS08RD	
Windows Server® 2008 R2 Foundation	WS08RF	
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	WS08D-64	
Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	WS08F-64	
Windows® Web Server 2008 R2	WS08RW	
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	WS08W-64	
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	WS08W-32	
Windows® HPC Server 2008 R2	WS08RH	
Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	WS08H-32	
Windows® Small Business Server 2008 Standard	SBS08S	
Windows® Small Business Server 2008 Premium	SBS08P	
Windows Server® 2003 R2 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03RS/Sx64	
Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03RE/Ex64	
Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03RD/Dx64	
Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	WS03S/Sx64	
Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	WS03E/Ex64	
Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	WS03D/Dx64	
Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	WS03W-32	
Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	WS00S/AS	
Windows Server® NT 4.0 Server	WSNT4S	
Windows® 8.1 (32-bit/64-bit)	W8.1	Linux
Windows® 8.1 Pro (32-bit/64-bit)	W8.1P	
Windows® 8.1 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8.1E	
Windows® 8 (32-bit/64-bit)	W8	
Windows® 8 Pro (32-bit/64-bit)	W8P	
Windows® 8 Enterprise (32-bit/64-bit)	W8E	
Windows® 7 Home Premium	W7HP	
Windows® 7 Professional/ Enterprise/ Ultimate	W7P/E/U	
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium	WVHB/HP	
Windows Vista® Business	WVB	
Windows Vista® Enterprise	WVE	VMware
Windows Vista® Ultimate	WVU	
Windows® XP Professional x64 Edition	WXPPx64	
Windows® XP Professional	WXPP	
Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)	RHEL7(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	RHEL6(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	RHEL6(x86)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	RHEL5(Intel64)	
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	RHEL5(x86)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.4 for x86/v.4 for EM64T)	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	
Red Hat Enterprise Linux ES/AS (v.3 for x86)	RHEL ES/AS3(x86)	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.5)	vS5.5	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.1)	vS5.1	
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	vS5.0	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	vS4.1	
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	vS4.0	

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

サーバ監視ソフト ServerView Operations Managerについて

ServerView Operations Managerは、ServerView Suite(SVS)に格納されているサーバ監視・管理ソフトウェアです。
エージェントソフトであるServerView AgentsまたはServerView ESXi CIM Provider(標準添付)と一緒に利用することにより、それぞれ以下の機能を実現します。

〔管理サーバ用マネージャソフト〕

ソフトウェア名称	ServerView Operations Manager(SVOM)		
利用環境	Windows/Linux/VMware ESX環境	VMware ESXi 4.1環境	VMware ESXi 5.x環境
主な機能	サーバ状態情報表示(SNMP経由)	サーバ状態情報表示(CIM経由)	
	エージェントからのアラーム受信／表示	無し	可
	エージェントからのアラーム受信によるアラームアクションの実行 (リモート通報サービスの提供) - インターネットメール送信 - SNMPトラップ転送 - メッセージボックス - プログラム実行 - 接続クライアントへのブロードキャスト - イベントログ記録	無し	可
	エージェントに対する各種設定 - ASR(自動復旧機能)	可	
	パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	無し	
備考	本ソフトウェアは、Windows(Windows Server® 2003以降)またはLinux上にて動作します(VMwareへのインストールは不可)		

※VMware ESX/ESXiを含むシステムでSVOMを利用する場合は、別途管理サーバ(Windows/Linux上で動くサーバ、ゲストOSでも可)を準備してください。
※VMware ESXiのサーバ状態情報表示を行う場合、SVOMはバージョンV5.01.03以降をお使いください。
※VMware ESXiサーバからのアラーム受信を行う場合、SVOMはバージョンV5.30.06以降をお使いください。
※リモート通報サービスを行う場合、SVOMはバージョンV5.50.9以降をお使いください。
※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することが出来ます。また、イベントログにて発生を確認することが出来ます。
※VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)内、VMware留意事項を必ずご参照ください。
※設定可能なASR機能は、ソフトウェアウォッチドッグ/ブートウォッチドッグ機能のみです。
また設定を行う場合、ServerView ESXi CIM Providerは、バージョンV6.00.04以降、SVOMはバージョンV6.00.07以降をお使いください。

〔監視対象サーバ用エージェントソフト〕

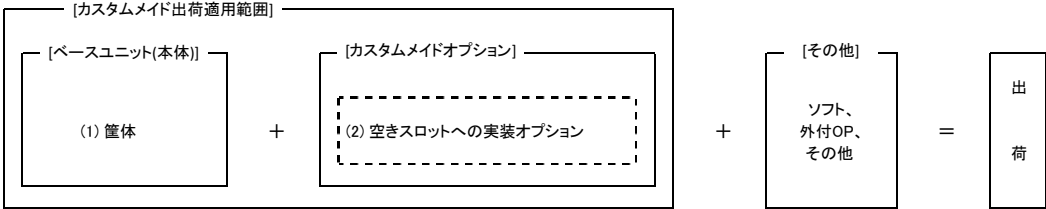
ソフトウェア名称	ServerView Agents		
監視対象サーバ	Windows/Linux/VMware ESXサーバ	VMware ESXi 4.1搭載サーバ	VMware ESXi 5.x搭載サーバ
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (SNMP経由)	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (CIM経由)	
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	無し	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	無し	

※Windows/Linux/VMware ESX サーバは「SNMPトラップ」によりアラームが送信されます。VMware ESXi 5.xを搭載したサーバは「CIM Indication」によりアラームが送信されます。
「CIM Indication」は、SVOMのイベントマネージャでSNMPトラップと同様に扱うことが可能です。
※ServerView ESXi CIM Providerについて、留意事項やインストール手順を弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>) 内、VMware留意事項にて掲載していますので必ずご参照ください。

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、CPU／メモリ／ディスク等のオプション をお客様の仕様に合わせて追加し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「ベースユニット(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、製品単位で梱包されて出荷されます。



〔カスタムメイド適用製品一覧〕

- (1)ベースユニット(本体)
PRIMERGY本体機種/外付オプション(JX40/JX60/PRIMERGY SX05 S1)が対象となります。
(2)カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く)。

2. カスタムメイド出荷における注意事項

出荷後の機器に対しOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵ストレージ以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。
カスタムメイド手配時にはご注意ください。

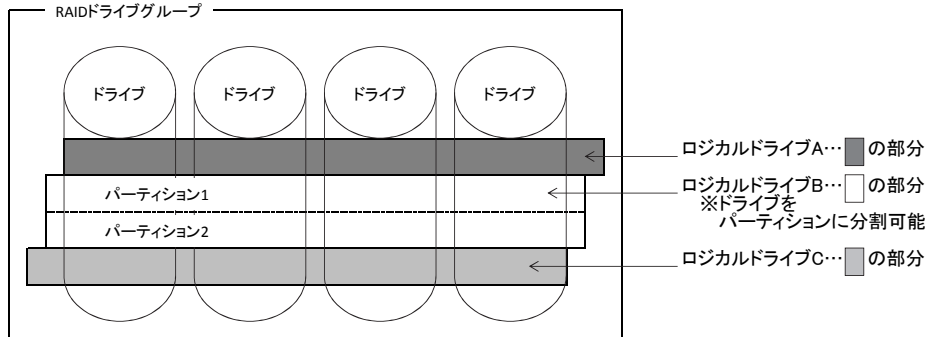
システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・RAIDドライブグループ……1つのRAIDを構成する物理的なストレージの集まり。
- ・ロジカルドライブ……OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション……OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



＜構成規則について＞

- (1) RAIDドライブグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) 同一RAIDグループ内のロジカルドライブは、同一のRAIDレベルとなります。
- (3) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。ただし、UEFI環境でご使用になる場合は2TB以上に設定することも可能です。各機種種のUEFI環境対応状況は、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>)をご参照ください。
- (4) 1つのRAIDドライブグループを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書き込む方式)	—	1～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書き込む方式)	—	2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを分割・二重化し、複数ドライブに書き込む方式)	—	4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、RAID1のデータを分割(RAID0)し、複数ドライブに書き込む方式)	—	4～16台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割し、パリティを加えて書き込む方式)	—	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(RAID5の性能向上のために、RAID5のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	—	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し、2つのパリティを加えて書き込む方式)	—	3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(RAID6の性能向上のために、RAID6のデータを分割し、複数ストライピングに書き込む方式)	—	6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数]

- (5) 1つのストレージコントローラに複数のRAIDドライブグループを作成することが可能です(異なるRAIDレベルも可能)。使用するストレージコントローラごとに作成可能なRAIDドライブグループ数、ロジカルドライブ数が異なります。詳細については、下表をご確認ください。

ストレージコントローラ	型名	RAIDドライブグループ数	ロジカルドライブ数		
			1RAIDドライブグループ当たり		1カード当たり
			RAID1+0 RAID5+0 (*1) RAID6+0 (*1)	左記以外のRAIDレベル	
オンボードSATAコントローラ オンボードSATAコントローラ拡張オプション	標準搭載/ PY-RLSE01	4	1	8	8
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR2L2 PY-SRD14A	8	1	16	16
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラ拡張ボード	PY-SR2C2/PY-SR2W0 PY-SRD08/PYBSRD081A	8	1	16	64
SASアレイコントローラカード SASアレイコントローラモジュール	PY-SR3C33/PY-SR3C34/PY-SR3C41 PY-SR3PR2 PY-SRD24A	8	16	16	64

(*1) 構成可能なRAIDレベルは使用するストレージコントローラの仕様に基づきます。

- (6) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

RAIDロジカルドライブのライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

キャッシュメモリが搭載されているSASアレイドコントローラカードは、RAIDロジカルドライブごとにライトポリシー(Write Policy)を「Write Back」設定にすることで、同キャッシュメモリをストレージへの書き込みキャッシュとして使用し、多くのアプリケーションで性能を向上させることが可能です。

「Write Back」動作させる場合は、サーバの電源障害などからキャッシュメモリ上のデータを保護するため、SASアレイドコントローラカードのオプションであるフラッシュバックアップユニット(FBU)やバッテリーバックアップユニット(BBU)を搭載するか、無停電電源装置UPS等でサーバを使用してください。

■ライトポリシー(Write Policy)の解説

動作 (Current Write Mode)	キャッシュメモリの動作	FBU/BBUの搭載
Write Through	読み込みのみ	任意
Write Back	読み込み・書き込み	推奨

SASアレイドコントローラカードのライトポリシー(Write Policy)設定、FBU/BBUの有無・状態ごとの動作、および出荷時の設定は下表の通りです。

■ライトポリシー(Write Policy)設定とその動作

設定 (Default Write Mode)	FBU / BBU		動作 (Current Write Mode)	出荷時の設定
	有無	充電状態		
Write Through	あり / なし	—	Write Through	デフォルト出荷設定
Write Back	あり	十分	Write Back	SASアレイドコントローラカード、FBU / BBUをカスタムメイド手配し、RAID設定サービスを手配された場合、「Write Back」設定で出荷
		不十分	Write Through	
	なし	—	Write Through	
Always-Write Back	あり / なし	—	Write Back	—

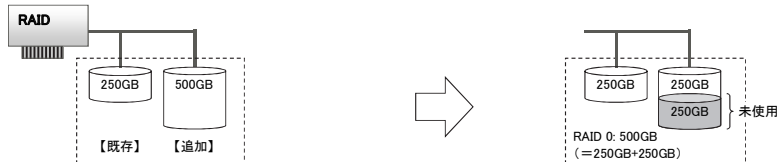
※ FBU/BBU使用時の注意事項

- ・BBUは、サーバ稼働中に充電されるため、稼働開始直後など充電量が不足している場合、および定期的なリキャリブレーション(調整のための充放電サイクル)実行中に充電量が不足している場合は、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。
- ・FBUは、稼働開始直後など充電量が不足している場合、充電完了までの間、Write Back設定時においても、動作は「Write Through」となります。リキャリブレーション中においてもWrite Back設定は維持されます。
- ・充電完了までの目安は、FBU: 最大10分程度、BBU: 最大12時間程度となります。

異なる容量のSATA/BC-SATA/ニアライン SASハードディスクドライブ増設時のアレイド構築について

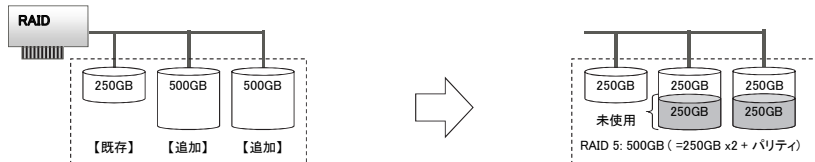
- アレイド構築の際、ディスクグループ内のドライブには同一型名品の使用を推奨していますが、以下の点を留意いただくことで異なる容量のドライブによるアレイド構築が可能です。

(1) RAID0 or RAID1の場合



ストレージコントローラの仕様として、アレイドを構成するために指定したドライブ中(RAIDドライブグループ)、最小容量となるドライブの容量をベースにロジカルドライブが構築されます。
 既存ドライブが250GB、追加するドライブの容量が500GBの場合、追加ドライブ中の250GBのみが、ロジカルドライブとして使用されます。
 このため、RAID0(ストライピング)を指定した場合には、最大500GBのロジカルドライブが、RAID1(ミラー)を指定した場合、最大250GBのロジカルドライブが構築できます。
 追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

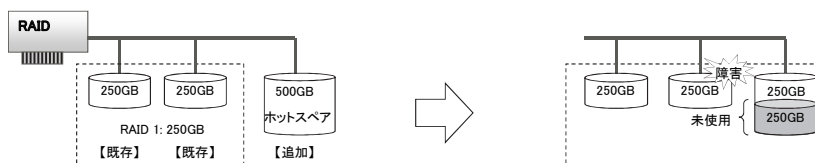
(2) RAID5の場合



既存ドライブ250GBに、2台の500GBドライブを追加しRAID5を構築する場合も、上記のRAID0、1を構築する場合と同様に、最小容量のドライブ(250GB)をベースにロジカルドライブが構築されます。
 このため、RAID5を指定した場合、最大500GBのロジカルドライブを構築できます。
 追加ドライブの残り250GBは、未使用となりロジカルドライブとして使用できません。

- 異なる容量のドライブを追加した場合でも、大きな容量のドライブに未使用となる領域ができますが、同一容量のドライブを使用した場合と同様なロジカルドライブを構築することができます。
 また、アレイドを構成しているドライブより大きな容量のドライブであれば、ホットスペアドライブとして使用することができます。

(3) ホットスペアドライブとして追加した場合



250GBのドライブ2台によるRAID1(ミラー)に、ホットスペアドライブとして500GBドライブを設定した場合、障害が発生した際は、スペアドライブ中の250GBを使用してリビルドが行われます。残り250GBは未使用となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

消耗品の扱いについて

- 下表のバッテリー(ストレージコントローラに搭載されているバッテリーも含む)は、消耗品となります。
- 消耗品には寿命があります。寿命は、バッテリーを搭載し、初回通電日からの換算となります。
- 寿命に至った場合、保証期間、SupportDesk契約有無(※)に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、お客様に交換用バッテリー製品をご購入いただき、交換作業をしていただく必要があります。なお、寿命期間は25℃を基準温度として定めており、お客様の使用温度によって寿命期間が前後することがありますので予めご留意ください。
- バッテリーは非稼働な状態でも、放電を続けるため、ご購入後は速やかな搭載作業をお願いいたします。
- RAS支援サービスやOS標準スケジュール機能により交換予告通知設定をする事が可能です。事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

※SupportDesk Standardをご契約いただいているお客様向けに、「SupportDesk 保守サービスプラス 予防保守 RAIDバッテリー定期交換(PRIMERGY)」をご用意しております。

詳細については弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/maintenance/raidbattery/>)をご参照ください。※お客様に代わって、指定のサービスエンジニアによるバッテリー交換サービスとして、「SASアレイコントローラカード/バッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。詳細については弊社HP(http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/parts_exchange.html)をご参照ください。

■2014年1月以降提供製品

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】		
寿命期間:「2年」		寿命期間:「2年」		
品名		品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	11,500円
	PYBBBR01A			
	PYBBBR02A			
	PYBBBR03A			
	PY-BBR06A			
	PYBBBR06A			
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR07A			
	PY-BBR04A	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	11,500円
	PYBBBR04A			
	PYBBBR05A			

■2013年12月以前提供製品 ※旧製品(販売終息済み)

バッテリー【消耗品】		交換用バッテリー【消耗品】			2014年1月販売開始		
旧製品(販売終息済み)		旧製品(販売終息済み)			寿命期間:「2年」		
品名	型名	品名	型名	価格(税別)	品名	型名	価格(税別)
バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PY-BBR01	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC1A	11,500円
	PYBBBR01		PG-BBU7				
	PYBBBR02		PG-BBU7				
	PYBBBR03		PY-BBD02				
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラ拡張ボード)	PG-BBU7	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC2A	11,500円
	PGBBBU7		PY-BBD02				
	PY-BBD02						
	PYBBBD02						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-248KL	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU5	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC3A	10,000円
	PG-248GL						
	PG-248G1						
	PG-248G2						
	PG-248G3						
	PG-248G3L						
	PG-248C3						
	PG-248C4						
	PG-248C6						
	PG-248C2L						
	PG-248J						
	PG-248J1						
	PG-248JC						
	PG-248J5						
	PG-248C7						
	PG-248C8						
	PG-248G5						
	PG-248J2						
	PG-248JL						
	PG-248J3						
	PG-248J4						
	PG-248K						
	PG-248KL						
	PG-248K3						
バッテリーバックアップユニット (SAS アレイコントローラカード)	PG-BBU6	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU1	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC4A	11,500円
	PGBBBU6						
	PY-BBR04						
	PYBBBR04						
バッテリーバックアップユニット	PYBBBR05	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU3	23,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PY-BBC5A	10,000円
	PG-248C						
	PG-248C1						
	PG-248CL						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-244C1	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU4	20,000円	交換用バッテリー バックアップユニット	PG-BBU2	20,000円
	PG-244CL						
	PG-244C						
	PGB244C						
RX600 S4標準搭載 SASアレイコントローラカード	-	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		
	PG-248G						
	PG-248G1L						
	PG-248G2L						
SASアレイコントローラカード(*1)	PG-244C	バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード)	PG-BBU2	20,000円	保守終息済みのため、後継製品の提供はありません。		
	PGB244C						
	PG-244C						
	PGB244C						

(*1) 資料内は一般型名(別梱包で出荷)[PG-型名]のみ記載しておりますが、カスタムメイド型名(本体内蔵出荷)[PGB型名]も対象となります。

有寿命部品 – SSD製品の書き込み保証値について

下表にあるSSD製品は、書き込み寿命を有するNANDフラッシュを含んだ「有寿命部品」となります。
 お客様のご使用方法により、保証期間内またはSupportDesk契約期間内にNANDフラッシュの書き込み寿命を迎える場合があります。
 保証期間は、弊社の定める製品保証期間終了日、または書き込み保証値に達した場合のいずれか早い時点で終了となります。

ご使用中に書き込み保証値に達し、寿命に至った場合(*)、SupportDesk契約有無に関わらず、修理をお受けすることはできませんので、
 お客様に製品を再度ご購入いただく必要があります。

(*) 当該製品が書き込み寿命を迎えた後もご使用を続けた結果、故障に至った場合も同様の対応となります。

本製品の書き込み保証値は、以下の通りです。

製品名	型名	書き込み保証値		参考：保証値に至る可能性のある 書き込み データ転送量(5年間連続で使用する場合)
		PBDW (Peta-Bytes Data Write)	DWPD (Drive Writes Per Day)	
PCIe SSD-365GB	PY-SD0APA2 PYBSD0APA2	4 PB	6 回	25 MB/s
PCIe SSD-785GB	PY-SD07PA2 PYBSD07PA2	11 PB	7 回	70 MB/s
PCIe SSD-1.2TB	PY-SD12PA2 PYBSD12PA2	17 PB	7 回	108 MB/s

PBDW (Peta-Bytes Data Write)：書き込みデータの総量。容量表記は1PB(1ペタバイト)＝1000⁵ Byte換算値です。
 DWPD (Drive Writes Per Day)：1日あたりにドライブ全容量分を上書きできる回数。

本製品の状態は、管理ソフトウェアioSphereやコマンドラインツールを使用して確認できます。
 定期的に状態をご確認頂き、製品の書き込みデータ量に達する前(寿命到達前)に弊社担当営業、もしくは販売パートナーまで再購入のご相談を
 下さいますようお願いいたします。
 また、SupportDesk契約の内容によっては、製品の再購入により、SupportDesk契約の更新・変更手続きが必要な場合もありますので、こちらにつきましても、
 弊社担当営業、もしくは販売パートナーまでご相談下さいますようお願いいたします。

ioSphereおよびコマンドラインツールは、ioMemory VSLデバイスドライバと合わせて富士通公開ホームページ：「ダウンロード」より入手できます。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/>)

詳細な操作方法については、弊社公開ホームページ：「マニュアル」より本製品のマニュアル(「ioSphere ソフトウェア ユーザーガイド」または
 「ioMemory VSLユーザーガイド」)をご参照ください。
 弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>)

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります)。

OS略称	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
WS12S / WS12RS	(~64)	4TB
WS12D / WS12RD	(~64)	4TB
WS12F / WS12RF	(~1)	32GB
WS12E / WS12RE	(~2)	64GB
WSS12RS	(~64)	4TB
SBS11E	(~2)	32GB
WS08RS	(~4)	32GB (*2)
WS08RE	(~8)	2TB (*3)
WS08RD	(~64)	2TB (*3)
WS08RF	(~1)	8GB (*4)
WS08S-64	(~4)	32GB
WS08E-64	(~8)	1TB
WS08D-64	(~64)	1TB
WS08S-32	(~4)	4GB (*5)
WS08E-32	(~8)	64GB
WS08RW	(~4)	32GB
WS08W-64	(~4)	32GB
WS08W-32	(~4)	4GB
WS08RH	(~4)	128GB
SBS08S	(~4)	32GB
SBS08P	(~4)	32GB
RHEL7(Intel64)	~120	6TB
RHEL6(Intel64)	~120	6TB
RHEL6(x86)	~32	12GB
RHEL5(Intel64)	~80	1TB
RHEL5(x86)	~32	12GB
vS5.5	320	4TB
vS5.1	160	32GB (*6) / 2TB
vS5.0	160	32GB (*6) / 2TB
vS4.1	128	256GB / 1TB (*7)
vS4.0	64	256GB / 1TB (*7)

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コア/8コア/10コア/12コア/14コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 R2 Standardインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は32GBまでです。

(*3) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用してください。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用してください。

(*4) Windows Server® 2008 R2 Foundationインストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*5) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)インストールオプション選択時に、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は4GBまでです。

(*6) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

(*7) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plus エディションが必要です。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

メモリの動作モードについて

メモリ動作モードには、インディペンデントチャンネルモード、ランクスペアリングモード、パフォーマンスモード、ミラードチャンネルモードの4種類があります。メモリ動作モードの選定でメモリ構成や搭載条件が決められ、性能・動作が変わります。CPU1、CPU2は同じメモリモードで動作します。メモリ構成の詳細はモデルによって異なります。詳細は以下を参照してください。

■BX920 S4/RX2520 M1/TX150 S8/TX2540 M1の場合 ※TX150 S8は1CPU構成のみとなります。

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

	CPU1					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C
搭載順	1	4	2	5	3	6

■物理CPU2個構成時

	CPU1						CPU2					
	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
搭載順	1	7	3	9	5	11	2	8	4	10	6	12

【ランクスペアリングモード】※TX2540 M1/RX2520 M1は除く

- (1) 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) LV-UDIMMでは使用できません。
- (5) ランクスペアリング設定サービスを選択し、カスタマイズにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- (6) 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank×2、またはDual Rank×2、またはQuad Rank×1、またはOcta Rank×1
- (7) 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下ようになります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM			LRDIMM	LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB	16GB	32GB	64GB
	SR	DR	SR	DR	DR	QR	OR
1DPC	-	-	-	-	-	24GB	56GB
2DPC	-	-	4GB	12GB	24GB	56GB	120GB

※DPC:チャンネルあたりのDIMM数

SR: Single Rank
DR: Dual Rank
QR: Quad Rank
OR: Octa Rank

【DIMMの搭載順】

<Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	2	①	①	-	-	-	-
2セット	4	①	①	②	②	-	-
3セット	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	4	①	①	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-
3セット	6	①	①	③	③	-	-	②	②	-	-	-	-
4セット	8	①	①	③	③	-	-	②	②	④	④	-	-
5セット	10	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	-	-
6セット	12	①	①	③	③	⑤	⑤	②	②	④	④	⑥	⑥

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ /Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	1	①	-	-	-	-	-
2	2	①	-	①	-	-	-
2セット	3	①	-	①	-	②	-
4	4	①	①	②	-	②	-
5	5	①	①	②	②	③	-
6	6	①	①	②	②	③	③

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

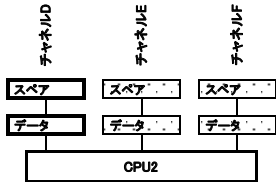
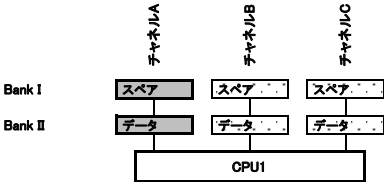
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1						CPU2					
		1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	2	①	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-
3	3	①	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	4	①	-	①	-	-	-	②	-	②	-	-	-
5	5	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	-	-
6	6	①	-	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
7	7	①	④	①	-	③	-	②	-	②	-	③	-
8	8	①	④	①	-	③	-	②	④	②	-	③	-
9	9	①	④	①	⑤	③	-	②	④	②	-	③	-
10	10	①	④	①	⑤	③	-	②	④	②	⑤	③	-
11	11	①	④	①	⑤	①	⑥	②	④	②	⑤	③	-
12	12	①	④	①	⑤	①	⑥	②	④	②	⑤	③	⑥

○内数字: 搭載順、-:メモリ非搭載

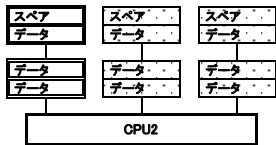
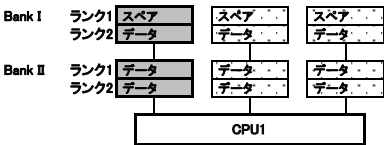
【DIMMの搭載位置】

<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

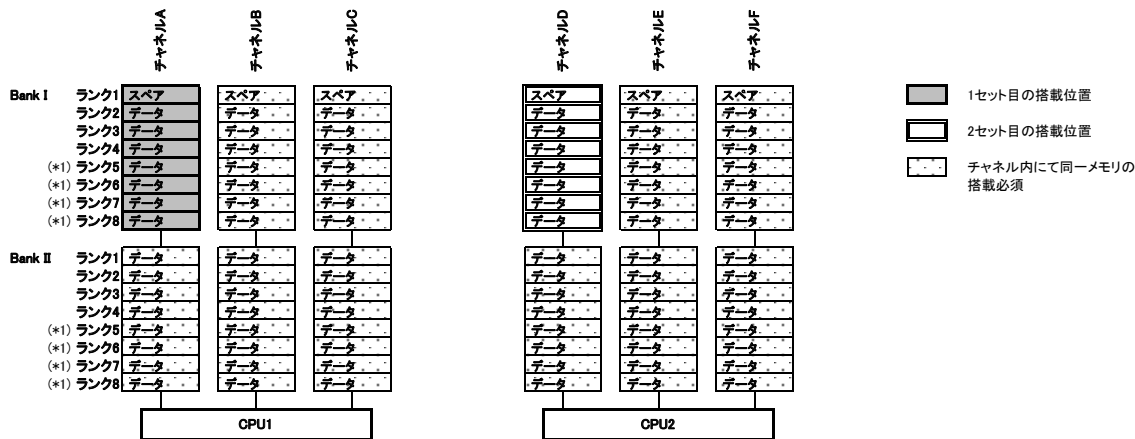


- 1セット目の搭載位置
- 2セット目の搭載位置
- チャンネル内にて同一メモリの搭載必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ /Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



(*1) Octa Rankメモリの場合のみ。Quad Rankメモリの場合はランク1～4までです。

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 - (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3) 最低3枚のDIMMで、同一のDIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、3枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②

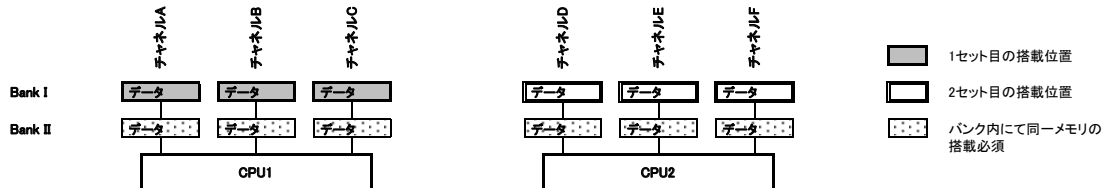
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	1A	2A	1B	2B	1C	2C	1D	2D	1E	2E	1F	2F
2セット	①	-	①	-	①	-	②	-	②	-	②	-
3セット	①	③	①	③	①	③	②	-	②	-	②	-
4セット	①	③	①	③	①	③	②	④	②	④	②	④

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラードチャンネルモード】※TX2540 M1/RX2520 M1は除く

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 - (2) LV-UDIMMでは使用できません。
 - (3) 最低2枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 - (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 - (5) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
- 以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	1A	2A	1B	2B	1C	2C
1セット	-	-	①	-	①	-

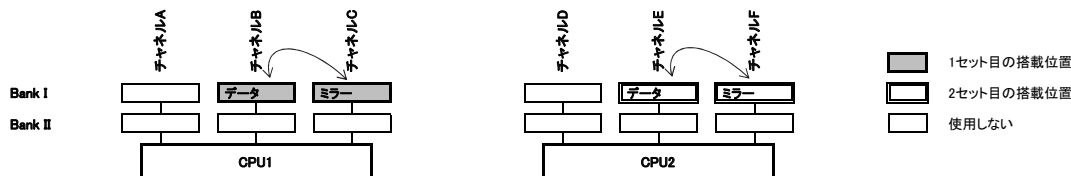
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	1A	2A	1B	2B	1C	2C	2D	1D	2E	1E	2F	1F
1セット	-	-	①	-	①	-	-	-	-	②	-	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■BX924 S4/RX200 S8/RX300 S8/RX2540 M1/RX350 S8/TX300 S8の場合

【インディペンデントチャンネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。
ただし、BX924 S4でメモリ-64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ-64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【DIMMの搭載順】

≪BX924 S4（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時）≫

■物理CPU1個構成時

	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順	1	5	9	3	7	-	4	8	-	2	6	10

-:メモリ搭載不可

■物理CPU2個構成時

	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順	1	9	17	5	13	-	7	15	-	3	11	19	2	10	18	6	14	21	8	16	22	4	12	20

-:メモリ搭載不可

≪BX924 S4（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外）≫

■物理CPU1個構成時

	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
搭載順	1	5	9	3	7	11	4	8	12	2	6	10

■物理CPU2個構成時

	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
搭載順	1	9	17	5	13	21	7	15	23	3	11	19	2	10	18	6	14	22	8	16	24	4	12	20

【ランクスベアリングモード】※RX2540 M1は除く

- (1) 同一メモリチャンネルの中で、1つのランクは他のランクのスペアとして利用できます。
- (2) スペアに設定されたランクはスペア用として予約されている為、システムメモリとして利用できません。
- (3) 同一メモリチャンネル内では、同一メモリのみ搭載できます。
- (4) LV-UDIMMでは使用できません。
- (5) ランクスベアリング設定サービスを選択し、カスタムメイドにてメモリを搭載する場合、同一型名メモリのみ搭載して出荷されます。
- (6) Quad Rank / Octa Rankメモリの場合、3枚目のDIMMを搭載する際に、1,2枚目と同一チャンネルの3番目のDIMMスロットには搭載せず、次のチャンネルに搭載してください。
- (7) 最小構成: 1チャンネルあたり、Single Rank × 2、またはDual Rank × 2、またはQuad Rank × 1、またはOcta Rank × 1
- (8) 使用可能なメモリ容量は、1チャンネルあたり以下になります。
- (9) Dual Rank × 8(8GB 1866 RDIMM)では使用できません。
- (10) BX924 S4でメモリ-64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ-64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【メモリ使用可能容量】

	UDIMM		RDIMM		LRDIMM	LRDIMM
	2GB	4GB	4GB	8GB		
	SR	DR	SR	DR		
1DPC	-	-	-	-	24GB	56GB
2DPC	-	-	4GB	12GB	56GB	120GB
3DPC	-	-	8GB	20GB	88GB	-

※DPC:チャンネルあたりのDIMM数

SR:Single Rank

DR: Dual Rank

QR: Quad Rank

OR: Octa Rank

【DIMMの搭載順】

≪BX924 S4（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時）≫

＜Single Rankメモリ /Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合＞

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
2セット	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
3セット	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
4セット	11	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	12	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、 -:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
5セット	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
	15	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
6セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
7セット	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
8セット	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

○内数字:搭載順、 -:メモリ非搭載

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2												
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G	
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	④	-	-	
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-	
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	-	-	-	-	④	④	-	
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	④	④	-	
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	④	④	-	
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	④	④	-	
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	④	④	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	-	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	22	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

<<BX924 S4 (インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外)>>

<Single Rankメモリ / Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
2セット	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	②	②	②
	7	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	-
3セット	8	①	①	①	③	③	-	-	-	-	②	②	②
	9	①	①	①	③	③	③	-	-	-	②	②	②
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
4セット	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	7	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	8	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	10	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	-	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	11	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	①	-	-	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
5セット	13	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
	15	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	-	-	-	-	-	-	④	④	④
6セット	16	①	①	①	⑤	⑤	-	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	17	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	18	①	①	①	⑤	⑤	⑤	-	-	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
7セット	19	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	④
	20	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	-	-	④	④	④
8セット	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	③	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>

■物理CPU1個構成時

セット数	DIMM数	CPU1											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	1	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2セット	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-
3セット	5	①	①	-	③	-	-	-	-	-	②	②	-
	6	①	①	-	③	③	-	-	-	-	②	②	-
4セット	7	①	①	-	③	③	-	④	-	-	②	②	-
	8	①	①	-	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	9	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	-
	10	①	①	①	③	③	-	④	④	-	②	②	②
	11	①	①	①	③	③	③	④	④	-	②	②	②
	12	①	①	①	③	③	③	④	④	④	②	②	②

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

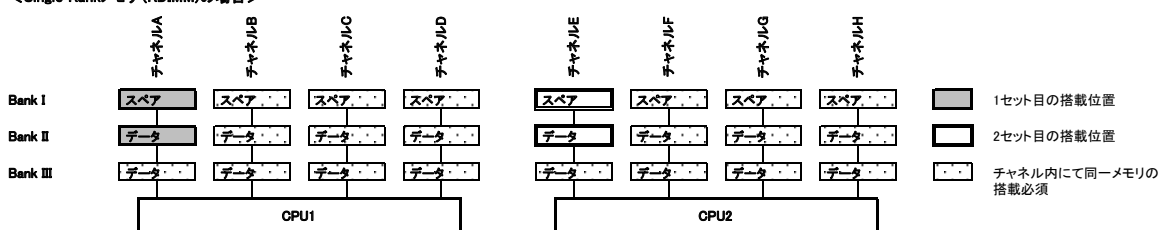
■物理CPU2個構成時

セット数	DIMM数	CPU1												CPU2											
		1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	2	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3セット	5	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4セット	7	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-
	8	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
5セット	9	①	①	-	⑤	-	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
	10	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	④	④	-
6セット	11	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	⑥	-	-	-	-	-	④	④	-
	12	①	①	-	⑤	⑤	-	-	-	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
7セット	13	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	-	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
	14	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	-	-	-	④	④	-
8セット	15	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	-	-	④	④	-
	16	①	①	-	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	17	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	-	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	18	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	19	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	-
	20	①	①	①	⑤	⑤	-	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	21	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	-	⑧	⑧	-	④	④	④
	22	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	-	-	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	23	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	-	④	④	④
	24	①	①	①	⑤	⑤	⑤	⑦	⑦	⑦	⑦	③	③	②	②	②	⑥	⑥	⑥	⑧	⑧	⑧	④	④	④

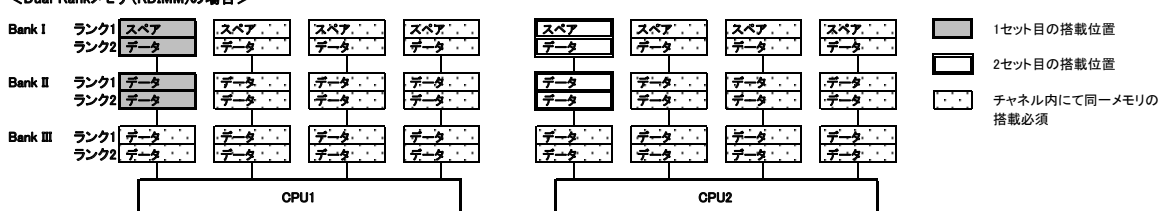
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】

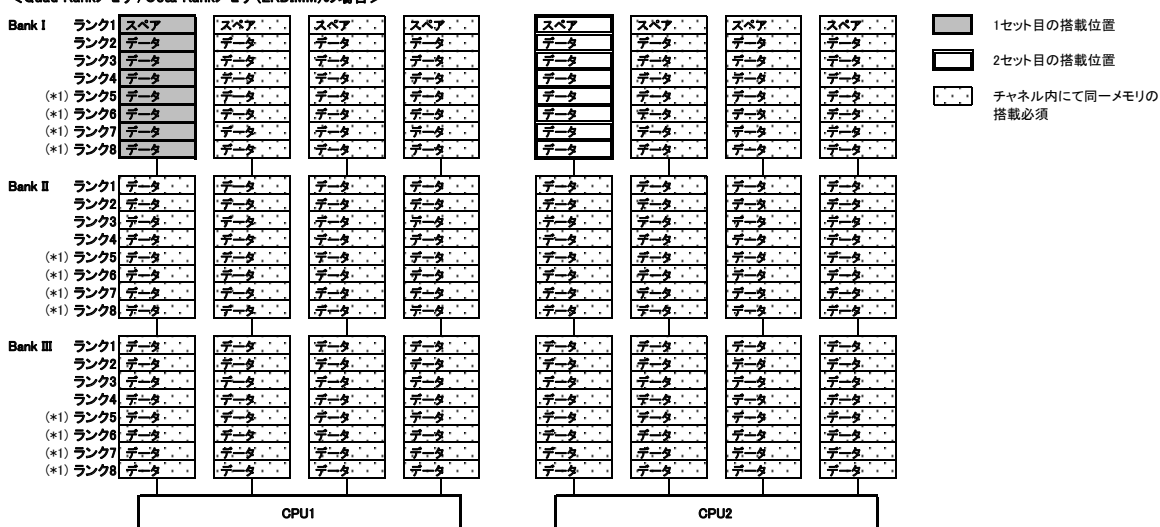
<Single Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Dual Rankメモリ (RDIMM)の場合>



<Quad Rankメモリ / Octa Rankメモリ (LRDIMM)の場合>



(*1) Octa Rankメモリの場合のみ。Quad Rankメモリの場合はランク1～4までです。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

【パフォーマンスモード】※RX2540 M1は除く

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
 (2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。
 ただし、BX924 S4でメモリ-64GBを使用する場合は、容量の小さいものから搭載し、メモリ-64GBを2DPC以下で使用する必要があります。

【DIMMの搭載順】

※BX924 S4（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時）※

■物理CPU1個構成時

セット数	CPU1											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	⑤	②	④	⑤	②	④	⑤	②	④	⑤

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

※BX924 S4（インテル®Xeon®プロセッサ E5-2637v2/E5-2643v2選択時以外）※

■物理CPU1個構成時

セット数	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-
2セット	①	②	-	①	②	-	①	②	-	①	②	-
3セット	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③

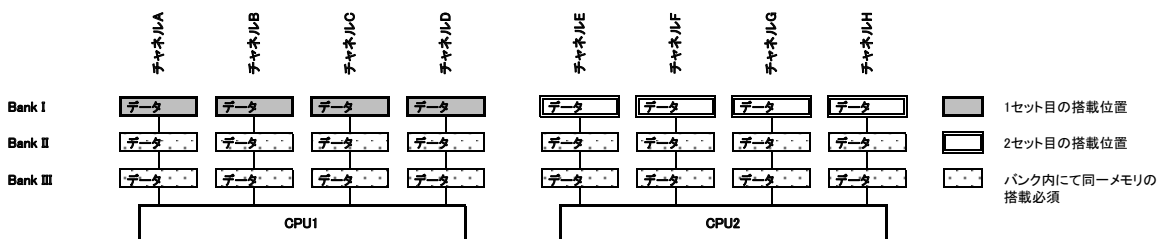
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
2セット	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
3セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-
4セット	①	③	-	①	③	-	①	③	-	①	③	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
5セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	-	②	④	-	②	④	-	②	④	-
6セット	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	①	③	⑤	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥	②	④	⑥

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



【ミラーチャンネルモード】※RX200 S8/RX2540 M1は除く

- (1) ミラーとなるDIMMは、同一BANK内である必要があります。
 (2) LV-UDIMMでは使用できません。
 (3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
 (4) 使用可能なメモリ容量は、搭載メモリ容量の1/2となります。
 (5) 1DPC構成のみサポートとなります(DPC: チャンネルあたりのDIMM数)。
 (6) Dual Rank × 8(8GB 1866 RDIMM)では使用できません。
 以下搭載条件の通り、4枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU1個構成時

セット数	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-

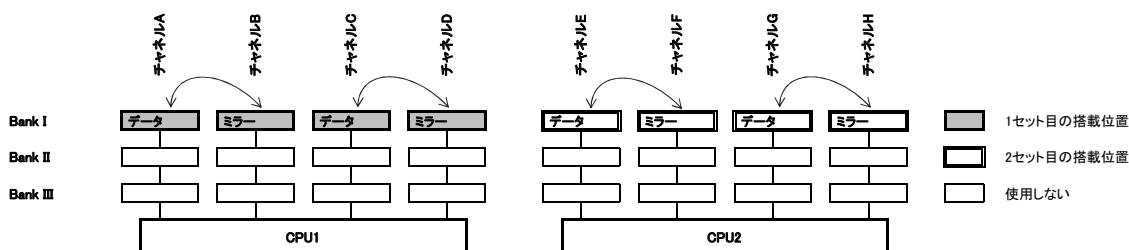
○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■物理CPU2個構成時

セット数	CPU1												CPU2											
	1A	2A	3A	1B	2B	3B	1D	2D	3D	1C	2C	3C	1E	2E	3E	1F	2F	3F	1H	2H	3H	1G	2G	3G
1DPC	①	-	-	①	-	-	①	-	-	①	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-	②	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



■RX4770 M1の場合

【パフォーマンスモード】

- (1) メモリの最大性能にて動作します。
(2) LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
(3) 最低4枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
以下搭載条件の通り、2枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■パフォーマンスモード(2CPU、2メモリボード)

CPU	CPU1												CPU2											
	MEM1						MEM2						MEM3						MEM4					
	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3
DIMM	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3
4	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
6	③	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③	-	-	-	-	-	-	-	-
8	③	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
10	③	-	-	①	⑤	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
12	③	-	-	①	⑤	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-	②	⑥	-	-	-	-	-	-	-
14	③	⑦	-	①	⑤	-	-	-	-	-	-	-	④	-	-	②	⑥	-	-	-	-	-	-	-
16	③	⑦	-	①	⑤	-	-	-	-	-	-	-	④	⑧	-	②	⑥	-	-	-	-	-	-	-
18	③	⑦	-	①	⑤	⑨	-	-	-	-	-	-	④	⑧	-	②	⑥	-	-	-	-	-	-	-
20	③	⑦	-	①	⑤	⑨	-	-	-	-	-	-	④	⑧	-	②	⑥	⑩	-	-	-	-	-	-
22	③	⑦	⑩	①	⑤	⑨	-	-	-	-	-	-	④	⑧	-	②	⑥	⑩	-	-	-	-	-	-
24	③	⑦	⑩	①	⑤	⑨	-	-	-	-	-	-	④	⑧	⑫	②	⑥	⑩	-	-	-	-	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■パフォーマンスモード(2CPU、4メモリボード)

CPU	CPU1												CPU2											
	MEM1						MEM2						MEM3						MEM4					
	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3	A1	A2	A3	B1	B2	B3
DIMM	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	C1	C2	C3	D1	D2	D3
4	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
10	⑤	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	③	-	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
12	⑤	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	⑥	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
14	⑤	-	-	①	-	-	⑦	-	-	-	-	③	⑥	-	-	②	-	-	-	-	-	-	-	-
16	⑤	-	-	①	-	-	⑦	-	-	-	-	-	⑥	-	-	②	-	-	⑧	-	-	-	-	-
18	⑤	-	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	-	③	⑥	-	-	②	-	-	⑧	-	-	-	-	-
20	⑤	-	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	-	-	⑥	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	-	-
22	⑤	-	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	③	⑩	⑥	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	-	-
24	⑤	-	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	-	③	⑩	⑥	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	⑫
26	⑤	⑬	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	-	③	⑩	⑥	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	⑫
28	⑤	⑬	-	①	⑨	-	⑦	-	-	-	-	-	⑥	⑭	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	⑫
30	⑤	⑬	-	①	⑨	-	⑦	⑮	-	-	-	-	⑥	⑭	-	-	②	⑩	-	⑧	-	-	-	⑫
32	⑤	⑬	-	①	⑨	-	⑦	⑮	-	-	-	-	⑥	⑭	-	-	②	⑩	-	⑧	⑮	-	-	⑫
34	⑤	⑬	-	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	-	⑥	⑭	-	-	②	⑩	-	⑧	⑮	-	-	⑫
36	⑤	⑬	-	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	-	⑥	⑭	-	-	②	⑩	⑮	⑮	-	-	-	⑫
38	⑤	⑬	-	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	③	⑮	⑮	⑥	⑭	-	②	⑩	⑮	⑮	-	-	⑫
40	⑤	⑬	-	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	③	⑮	⑮	⑥	⑭	-	②	⑩	⑮	⑮	-	-	⑫
42	⑤	⑬	⑰	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	-	③	⑮	⑮	⑥	⑭	-	②	⑩	⑮	⑮	-	-
44	⑤	⑬	⑰	①	⑨	⑰	⑦	⑮	-	-	-	-	③	⑮	⑮	⑥	⑭	⑲	②	⑩	⑮	⑮	-	-
46	⑤	⑬	⑰	①	⑨	⑰	⑦	⑮	⑲	③	⑮	⑮	⑥	⑭	⑲	②	⑩	⑮	⑮	⑮	⑮	-	-	⑫
48	⑤	⑬	⑰	①	⑨	⑰	⑦	⑮	⑲	③	⑮	⑮	⑥	⑭	⑲	②	⑩	⑮	⑮	⑮	⑮	⑲	-	-

○内数字: 搭載順、-: メモリ非搭載

■パフォーマンスモード(4CPU、4メモリボード)

CPU	MEM	Riser	DIMM	CPU1												CPU2												CPU3												CPU4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				MEM1						MEM2						MEM3						MEM4						MEM5						MEM6						MEM7						MEM8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				C1	A1	C2	A2	C3	A3	D1	B1	D2	B2	D3	B3	C1	A1	C2	A2	C3	A3	D1	B1	D2	B2	D3	B3	C1	A1	C2	A2	C3	A3	D1	B1	D2	B2	D3	B3	C1	A1	C2	A2	C3	A3	D1	B1	D2	B2	D3	B3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■CX250 S2/CX270 S2の場合

【インディペンデントチャネルモード】

DIMMは容量の大きいものから以下の搭載順にて搭載する必要があります。

【DIMMの搭載順】

■物理CPU2個構成時

	CPU0								CPU1							
	1A	2A	1B	2B	1D	2D	1C	2C	1E	2E	1F	2F	1H	2H	1G	2G
搭載順	1	9	5	13	7	15	3	11	2	10	6	14	8	16	4	12

【パフォーマンスモード】

- (1)メモリの最大性能にて動作します。
 - (2)LVメモリ搭載時も、メモリ性能が優先され、1.5Vでの動作設定がなされることがあります。
 - (3)最低8枚の同一DIMMにて構成を組む必要があります。
- 以下搭載条件の通り、8枚の同一DIMMを1セットとして容量の大きい順にDIMMを搭載する必要があります。

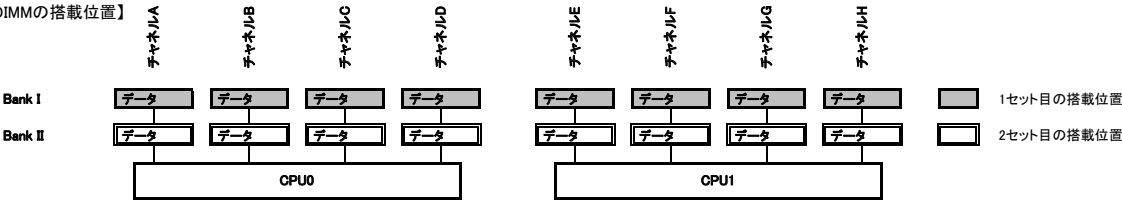
【DIMMの搭載順】

■物理CPU2台構成時

セット数	CPU0								CPU1							
	1A	2A	1B	2B	1D	2D	1C	2C	1E	2E	1F	2F	1H	2H	1G	2G
1セット	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-	①	-
2セット	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②

○内数字:搭載順、-:メモリ非搭載

【DIMMの搭載位置】



システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ OS標準バックアップユーティリティ対応表

バックアップ装置 適用OS バックアップ ユーティリティ			Windows系												Linux系			
			WS08S/E-32 WS08S/E/D-64	WS08W	WS08RS/E/D	WS08RF	WS08RW	WS08RH	SBS11E	WS12S/D	WS12F	WS12RS/D/F/E	RHEL5(x86) RHEL5(Intel64)	RHEL6(x86) RHEL6(Intel64)	RHEL7(Intel64)			
			WindowsServer Backup												Linux Command (※1)			
装置型名		規格																
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○		
	PY-RD112 PYBRD112		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○			
	PY-RD113 PYBRD113		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	○	○			
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		
	PY-DT202 PYBDT202		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○		

○: 対応

×: 未対応

●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

△: サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

(*1) 最新対応状況につきましては、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/>)を参照ください。

留意事項

- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
- Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar、cpio、ddをご使用ください。
- OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。

■ ARCserve for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。

なお、CA arcserve UDP v5 製品のバックアップ装置の対応については、下表の「CA ARCserve Backup r16.5」の欄をご参照ください。

また、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>)

バックアップ装置 適用OS ARCserver 版数 装置型名 規格			WS08S/E-32 WS08S/E/D-64			WS08RS/E/D			WS08RF			WS08RW			WS12S/D			WS12F			WS12RS/D/F/E WSS12RS		
			CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5
			CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r16	CA ARCserve Backup r16.5
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD113 PYBRD113		×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	×	×	●	×	×	●
	PY-DT202 PYBDT202		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	×	×	●	×	×	●
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	×	×	●	×	×	●

○: 対応

×: 未対応

●: 対応(ただし、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

(*1) CA社提供のWIN-CA ARCSERVE BACKUP 16.5 SERVICE PACK 1および最新のパッチモジュールの適用が必須。

(CA社のサイト: <http://www.casupport.jp/resources/bab165win/down/>)

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Windows対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windowsの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置			適用OS		WS08S/E-32		WS08S/E/D-64				WS08RS/E/D				WS08RF				WS12S/D				WS12F				WS12RS/D/F/E WSS12RS					
			NetVault Backup 版数																													
			装置型名	規格																												
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	PY-RD112 PYBRD112		×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	PY-RD113 PYBRD113		×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
	DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
PY-DT202 PYBDT202		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

○ : 対応

× : 未対応

- : OS組合せなし

■ Symantec Backup Exec対応表

PRIMERGYシリーズに接続されているバックアップ装置とSymantec Backup Execの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とSymantec Backup Execの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/products/bews/technical/>)

バックアップ装置 装置型名			適用OS	WS08S/E-32			WS08S/E/D-64			WS08RS/E/D			WS08RF			WS12S/D/F			WS12RS/D/F/E WSS12RS		
			Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 2010(*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	Backup Exec 2010 (*3)	Backup Exec 2012	Backup Exec 2014	
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0 (*1)(*5)	×	◎(*4)	◎(*4)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	×	×	×	×	◎(*4)(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	
	PY-RD112 PYBRD112		×	◎(*4)	◎(*4)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	×	×	×	×	◎(*4)(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	
	PY-RD113 PYBRD113		×	◎(*4)	◎(*4)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	◎(*4)	◎(*4)(*6)	×	×	×	×	×	◎(*4)(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	×	×	×	×	×	○(*6)	×	×	○(*4)(*6)	
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*6)	×	×	×	×	×	○(*6)	×	×	○(*4)(*6)	
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○(*2)	○	○	○(*2)(*6)	○(*6)	○(*6)	○(*2)(*6)	○(*6)	○(*6)	×	×	×	×	×	○(*6)	×	×	○(*4)(*6)	
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	◎(*4)(*5)	◎(*4)(*6)	×	◎(*4)(*5)	◎(*4)(*6)	×	×	×	×	×	◎(*4)(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	◎	◎	◎	◎	◎	◎(*6)	◎	◎	◎(*6)	◎	◎	◎	×	×	◎(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	
	PY-DT202 PYBDT202		◎	◎	◎	◎	◎	◎(*6)	◎	◎	◎(*6)	×	×	×	×	×	◎(*6)	×	×	◎(*4)(*6)	

○ : 対応

× : 未対応

◎ : 対応(ただし、弊社提供のUSBドライバの適用必須)

(*1) 媒体(Data Cartridge RDX) をまたがるシステムバックアップは未サポート。

(*2) テープ媒体をまたがるシステムバックアップは未サポート。

また、シマンテック社提供のデバイスドライバ DD120100515 以降の適用が必須(なお、Backup Exec 2010 R2, R3 をご使用になる場合は、本デバイスドライバの適用は不要)。

(*3) Backup Exec 2010 R3以降を使用することを推奨。

(*4) SDRによるリストアは未サポート。

(*5) Backup Exec 2012 SP2以降でサポート。

(*6) Datacenter は未サポート。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ NetVault Backup for Linux対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの対応について記します。

なお、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Linuxの最新情報や使用上の注意については、下記をご参照ください。

弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

適用OS NetVault Backup 版数 装置型名 規格			RHEL5(x86)					RHEL5(Intel64)					RHEL6(x86)					RHEL6(Intel64)				
			NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.1	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.6	NetVault Backup 8.6.3	NetVault Backup 9.1.
RDX 装置	PY-RD111 PYBRD111	RDX USB 3.0	×	×	×	△	△	×	×	×	△	△	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD112 PYBRD112		×	×	×	△	△	×	×	×	△	△	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
	PY-RD113 PYBRD113		×	×	×	△	△	×	×	×	△	△	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○
LTO 装置	PY-LT301 PYBLT301	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	PY-LT411 PYBLT411	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	PY-LT511 PYBLT511	LTO Ultrium5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	PY-LT611 PYBLT611	LTO Ultrium6	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
DAT 装置	PY-DT201 PYBDT201	DAT160	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	PY-DT202 PYBDT202		-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○

○: 対応

×: 未対応

-: OS組合せなし

△: サーバのオンボードUSB2.0ポートとの組み合わせはサポート。ただし、増設用USB3.0ポートとの組み合わせは未サポート

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- Windows Server OSについては、ダウングレード/ダウンエディション権があります。
Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008における適用可能な組合せの考え方は下表の通りです。
ダウングレード例:Windows Server® 2012 R2>Windows Server® 2012>Windows Server® 2008 R2>Windows Server® 2008
ダウンエディション例:Datacenter>Enterprise>Standard

		ダウングレード/ダウンエディション可能な組合せ									
		WS12RS	WS12RD	WS12S	WS12D	WS08RS	WS08RE	WS08RD	WS08S-32/64	WS08E-32/64	WS08D-64
保有 ライ セン ス	WS12RS	-	x	○	x	○	○	x	○	○	x
	WS12RD	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
	WS12S	x	x	-	x	○	○	x	○	○	x
	WS12D	x	x	○	-	○	○	○	○	○	○
	WS08RS	x	x	x	x	-	x	x	○	x	x
	WS08RE	x	x	x	x	○	-	x	○	○	x
	WS08RD	x	x	x	x	○	○	-	○	○	○
	WS08S-32/64	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x
	WS08E-32/64	x	x	x	x	x	x	x	○	-	x
	WS08D-64	x	x	x	x	x	x	x	○	○	-

○:可能、x:不可、-:対象外

- ダウングレード/ダウンエディション権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。

OSをサーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするWindows OSオプションの提供方法について

- 選択するOSオプション型名に応じて、インストール/バンドル(OS媒体添付)を選択可能です。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2は、64bit版のみの提供となります。
- Windows Server® 2008 は32bit版、64bit版の提供となり、双方の媒体が標準添付されております。

Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2012 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008 R2へのダウングレードサービス付き製品
(1) 本製品には、Windows Server® 2012 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 R2のOS媒体も同梱されます。
さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 R2のインストール作業を代行します。
(2) 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2012 R2用となります。Windows Server® 2008 R2には使えません。
CAL(クライアントアクセスライセンス)は製品に添付されていないので、使用する環境に応じて、Device CAL/User CALを別途手配する必要があります。
(3) 本製品にはWindows Server® 2012 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008 R2から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2012 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

- 本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。
- Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品
(1) 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008(32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。
さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008(32-bit)のインストール作業を代行します。
(2) 製品貼り付けのCOAシール(プロダクトキーが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。
CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008(32-bit、64-bit)でも使用することができます。
(3) 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server OSメディアキットについて

- Windows Server OSメディアキットは、Windows OSをダウングレード/ダウンエディションして使用する場合に必要となる「インストールメディア/プロダクトキー」です。
「メディアキット」にはライセンスは含まれておりませんので、Windows Server OS ライセンスが含まれているWindows Server OS インストール/バンドルオプションと同時にご購入/されるお客様へのみ提供可能となります。「メディアキット」のみでの手配はできません。
手配上の、組み合わせ詳細については、「OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて」をご参照ください。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Windows OSサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したWindowsサポートサービス「SupportDesk」です。専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など)、Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)を行います。提供ラインナップ詳細は下表の通りです。

	SupportDesk Standard(Windows Server)	SupportDesk Standard(Windows Server 仮想化対応)
サービス期間	3年/4年/5年	3年/4年/5年
サービス時間帯	平日/24時間365日	平日/24時間365日
サポート対象範囲	ホストOS	ホストOS/ゲストOS
ホスト対象OS(*1)	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard Windows® Storage Server 2012 R2 Standard 	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Standard Windows Server® 2008 R2 / 2008 Enterprise Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 Datacenter Windows® Storage Server 2012 R2 Standard
ゲスト対象OS	—	富士通でサポート可能なホストOS/ゲストOSの組み合わせに限る(*2)
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など) Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など) 	<ul style="list-style-type: none"> 専門技術者によるWindows OSサポート(電話によるQ&A対応/問題解決支援など) Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/サービス対応履歴など)

(*1) サポート可能なOSは使用するサーバのサポートOSに準じます。

(*2) 詳細については、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。

マイクロソフト社製ソフトウェア製品使用時の留意事項について

- サービスプロバイダ様がマイクロソフト社製ソフトウェア製品を利用したサービス(例: ASP/SaaS、アウトソーシング、ホスティング等)を第三者(エンドユーザ様)に提供する場合、「サービスプロバイダライセンス(SPLA)」というライセンス体系が適用されます。そのため、サーバ本体と同時契約し、本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品をご利用になる場合には、上記のサービスを第三者(エンドユーザ様)に提供することはできませんので、ご注意ください。ただし、ハウジングサービス(サービス利用者がライセンスを資産として所有)において、ご利用になるサーバがサービス利用者様のみの使用である場合に限り、サーバ本体と同時契約し、サーバ本体にインストールまたはバンドルしてお届けするライセンス製品やパッケージ製品、およびボリュームライセンス製品のライセンス体系を適用することが可能です。
- OSインストールには、ODDドライブが必要となります。内蔵ODDを搭載しない場合は、複数台システムに最低1台、スーパーマルチドライブユニットを手配する必要があります。
- Windows Server® 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 / 2008 をインストールするためには、33GB以上の論理ボリュームが必要となります。
- PRIMERGYでパッケージ製品の「Windows Server® 2012 R2」をお使いになる場合には、KB2883200のHotfixを適用いただく必要があります。Hotfixの適用方法については、以下マイクロソフト社HPからご確認ください。
マイクロソフト社 HP(<http://support.microsoft.com/kb/2883200>)
- Windows Server® 2012 R2 Standard, Datacenter, Essentials または Windows Server® 2012 Essentialsに含まれるWindows Server Essentials のバックアップ機能を使用する場合は、2台以上の内蔵ストレージ(もしくはロジカルドライブ)が必要となります。
- その他留意事項に関する最新情報は、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/>)をご確認ください。

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

Linux関連事項

Red Hat Enterprise Linuxのサポートについて

- お客様のシステムの安定稼働と円滑な保守を支援するため、豊富な経験に基づく充実したLinuxサポートサービス「SupportDesk」をご提供します。
- オプション提供品のラインナップ詳細は下表の通りです。

		SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 基本サポート)					SupportDesk Standard (Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート)				
		1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	wSV ゲスト無制限	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)	1ゲスト(*3)	4ゲスト(*3)	wSV ゲスト無制限	VDC ゲスト無制限 (ゲスト専用)	2ゲスト (ゲスト専用)
サービス期間		1/3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	3/4/5年	5年				
サービス時間帯		平日/24時間365日					平日/24時間365日				
サポート 範囲	物理CPU数 (Socket数)	～2	～2	～2	～2	無制限	～2	～2	～2	～2	無制限
	RHELゲスト OS数	～1	～4	無制限	無制限	～2	～1	～4	無制限	無制限	～2
使用可能 ハイパーバイザ		RHEL仮想マシン機能			Hyper-V VMware		RHEL仮想マシン機能			Hyper-V VMware	
サポートOS(*1)(*2)		Red Hat Enterprise Linux					Red Hat Enterprise Linux				
サービス内容		・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトIDの入手手続き代行					・専門技術者によるLinux OSサポート (電話によるQ&A対応/問題解決支援など) ・Webによる情報提供(ソフトウェアの修正情報/運用ノウハウ/ サービス対応履歴など) ・プロダクトID(EUSサービスを含む)の入手手続き代行				

- (*1) 対象版数については、弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。
- (*2) 仮想環境におけるサポートOSの組み合わせについては、「各OSの仮想化機能について」をご参照ください。
- (*3) 同時起動仮想マシン数は、RHEL以外の他OSを含めて4以下に制限されます。5ゲスト以上動作させる場合は、「wSV ゲスト無制限」をご契約ください。
- ・詳細はシステム構成図(サービス一覧)の「SupportDesk StandardにおけるRed Hat Enterprise Linuxのサポートについて」をご参照ください。

Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションについて

- Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションはインストール媒体のみの提供となります。
- サブスクリプション(利用権)の同時手配が必要となるため、SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux)
[PYBSPR*D02/PYBSPR*A02/PYBSPK*D02/PYBSPK*A02/PYBSPM*D02/PYBSPM*A02/PYBSPD*D02/PYBSPD*A02/PYBSPN*D02/PYBSPN*A02/
PYBSPR5DE2/PYBSPR5AE2/PYBSPK5DE2/PYBSPK5AE2/PYBSPM5DE2/PYBSPM5AE2/PYBSPD5DE2/PYBSPD5AE2/PYBSPN5DE2/PYBSPN5AE2]
との同時手配必須となります(Red Hat Enterprise Linux バンドルオプションのみでの手配はできません)。
- OSはインストールされません。添付のDVD(Install DVD Kit)とServerView Suiteを用いてインストールしてください。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、
弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)をご参照ください。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ(*1)	
		ext3/ext4 (*2)	XFS
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB / -	-
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB (*3)	-
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB / -	-
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	6TB	8TB / 16TB (*3)	-
Red Hat Enterprise Linux 7 (for intel64)	6TB	16TB / 50TB	500TB

- (*1) システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。
- (*2) ext4は、RHEL6 (for x86/for intel64)/RHEL7 (for intel64)でご使用ください。
- (*3) 8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用ください。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラ、オンボードSATAコントローラ拡張オプションにてRAID構成で使用する場合のみ、Linuxのディスクダンプ機能はRHEL5.8以降、RHEL6.3以降、RHEL7.0以降をご使用ください。
弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/>)の「PRIMERGYのLinux情報」のLinuxサポート版数一覧表の各機種の注意事項を参照の上、ご使用ください。

機種名	RHEL5 / RHEL6 / RHEL7		
	オンボード(SATA/SAS) コントローラにて		左記以外の ストレージ コントローラ 使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX920 S4	○	-	○
BX924 S4	○	-	○
RX1330 M1	○	○	○
RX2520 M1	-	-	○
RX200 S8	○	-	○
RX300 S8	○	-	○
RX2540 M1	-	-	-
RX350 S8	○	-	○
RX4770 M1	-	-	○
TX1310 M1	○	○	-
TX1320 M1	○	○	○
TX1330 M1	○	○	○
TX150 S8	○	-	○
TX2540 M1	○	-	○
TX300 S8	○	-	○
CX250 S2	○	-	○
CX270 S2	○	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL5			RHEL6 / RHEL7		
	オンボード(SATA/SAS) コントローラにて		左記以外の ストレージ コントローラ 使用時	オンボード(SATA/SAS) コントローラにて		左記以外の ストレージ コントローラ 使用時
	アレイ接続時	非アレイ接続時		アレイ接続時	非アレイ接続時	
BX920 S4	×	-	○	○	-	○
BX924 S4	×	-	○	○	-	○
RX1330 M1	-	-	-	○	○	○
RX2520 M1	-	-	○	-	-	○
RX200 S8	×	-	○	○	-	○
RX300 S8	×	-	○	○	-	○
RX2540 M1	-	-	-	-	-	-
RX350 S8	×	-	○	○	-	○
RX4770 M1	-	-	-	-	-	○
TX1310 M1	×	×	-	○	○	-
TX1320 M1	-	-	-	○	○	○
TX1330 M1	-	-	-	○	○	○
TX150 S8	×	-	○	○	-	○
TX2540 M1	×	-	○	○	-	○
TX300 S8	×	-	○	○	-	○
CX250 S2	×	-	○	○	-	○
CX270 S2	×	-	○	○	-	○

○:可能 ×:不可 -:対象構成無し

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプション、SupportDesk、複数同時選択時の組み合わせについて

OSオプションの略称、同時手配可能数について

・OSオプションの略称および手配可能数は下表の通りです。OSオプションごとの組み合わせについては、「OSオプションの同時選択可否について」をご参照ください。

■ Windows

略称		品名	型名	手配可能数	
Windows	インストール	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3	1
		WS12RS(Hyper-V)	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3H	1
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2	1
		WS12S(Hyper-V)	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS2H	1
	バンドル	WS12RS	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWBS3	1
		WS12S	Windows Server 2012 Standard(2CPU/2VM) バンドル	PYBWBS2	1
		WS12S Add	Windows Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAS2	5
	バンドル	WS12RD	Windows Server 2012 R2 Datacenter(2CPU) バンドル	PYBWBD3	1
		WS12D	Windows Server 2012 Datacenter(2CPU) バンドル	PYBWBD22	1
		WS12D Add	Windows Server 2012 Datacenter Additional License(2CPU) バンドル	PYBWAD22	1
	インストール	WSS12RS	Windows Storage Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) インストール	PYBWPS3S	1
	バンドル	WSS12RS Add	Windows Storage Server 2012 Standard Additional License(2CPU/2VM) バンドル	PYBWAWS3S	3
	バンドル	DCAL1	Windows Server 2012 1 Device CAL バンドル	PYBWCD01	4
		DCAL5	Windows Server 2012 5 Device CAL バンドル	PYBWCD05	1
		DCAL10	Windows Server 2012 10 Device CAL バンドル	PYBWCD10	4
		DCAL50	Windows Server 2012 50 Device CAL バンドル	PYBWCD50	10
	バンドル	UCAL1	Windows Server 2012 1 User CAL バンドル	PYBWCU01	4
		UCAL5	Windows Server 2012 5 User CAL バンドル	PYBWCU05	1
		UCAL10	Windows Server 2012 10 User CAL バンドル	PYBWCU10	4
		UCAL50	Windows Server 2012 50 User CAL バンドル	PYBWCU50	10
	バンドル	RSDCAL1	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 1 Device CAL	PYBWCD01	4
		RSDCAL5	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 5 Device CAL	PYBWCD05	1
		RSDCAL10	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 10 Device CAL	PYBWCD10	4
		RSDCAL50	Windows Server 2012 Remote Desktop Services 50 Device CAL	PYBWCD50	10
	バンドル	RDSUCAL1	Windows Server 2012 Remote User Services 1 User CAL	PYBWCU01	4
		RDSUCAL5	Windows Server 2012 Remote User Services 5 User CAL	PYBWCU05	1
		RDSUCAL10	Windows Server 2012 Remote User Services 10 User CAL	PYBWCU10	4
		RDSUCAL50	Windows Server 2012 Remote User Services 50 User CAL	PYBWCU50	10
	インストール	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPS8	1
	バンドル	WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard バンドル	PYBWBS8	3
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBE8	2
	インストール	WS08RS(DG)	Windows Server 2012 R2 Standard(2CPU/2VM) ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 R2 Standard インストール	PYBWPS8S	1
	バンドル	WS08RH	Windows Server 2008 R2 HPC Edition バンドル	PYBWBS8H	1
		HPC Enterprise	Microsoft HPC Pack 2008 R2 Enterprise バンドル	PYBWBS8E	1
	バンドル	SQL2012(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2012 Standard バンドル	PYBWBL2	1
		SQL2014(サーバ/CAL)	Microsoft SQL Server 2014 Standard バンドル	PYBWBL4	1
		SQL UCAL1	Microsoft SQL Server 2014 1 User CAL	PYBWCU01M	4
		SQL UCAL5	Microsoft SQL Server 2014 5 User CAL	PYBWCU05M	3
		SQL DCAL1	Microsoft SQL Server 2014 1 Device CAL	PYBWCD01M	4
		SQL DCAL5	Microsoft SQL Server 2014 5 Device CAL	PYBWCD05M	3
	バンドル (メディアオプション)	WS12S	Windows Server 2012 Standard メディアキット	PYBWBS22	1
		WS08RS	Windows Server 2008 R2 Standard メディアキットバンドル	PYBWBS82	1
		WS08RE	Windows Server 2008 R2 Enterprise メディアキットバンドル	PYBWBE82	1
		WS08S	Windows Server 2008 Standard メディアキットバンドル	PYBWBS8	1
		WS08E	Windows Server 2008 Enterprise メディアキットバンドル	PYBWBS8E	1
	インストール	WS08S(DG)	Windows Server 2008 R2 Standard ダウングレードサービス付き Windows Server 2008 Standard インストール	PYBWBS82S	1
		WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation インストール	PYBWBS8F	1
	バンドル	WS12RF	Windows Server 2012 R2 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWBS8F3	1
		WS12RE	Windows Server 2012 R2 Essentials バンドル	PYBWBS8B3	1
		WS12F	Windows Server 2012 Foundation(1CPU) バンドル	PYBWBS8F2	1
		WS12E	Windows Server 2012 Essentials バンドル	PYBWBS8B2	1
		WS08RD(2CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (2CPUライセンス) バンドル	PYBWBS8D4	1
		WS08RD(4CPU)	Windows Server 2008 R2 Datacenter (4CPUライセンス) バンドル	PYBWBS8D5	1
		WS08RF	Windows Server 2008 R2 Foundation バンドル	PYBWBS8F8	1
		WS08RH Suite	Windows HPC Server 2008 R2 Suite バンドル	PYBWBS8H8S	1

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

略称		品名		型名	手配可能数	
Linux	バンドル	RHEL7	Red Hat Enterprise Linux 7.0 媒体バンドル	PYBLB70	1	5
		RHEL6	Red Hat Enterprise Linux 6.5 媒体バンドル	PYBLB65	1	
			Red Hat Enterprise Linux 6.4 媒体バンドル	PYBLB64	1	
		RHEL5	Red Hat Enterprise Linux 5.10 媒体バンドル	PYBLB54	1	
			Red Hat Enterprise Linux 5.9 媒体バンドル	PYBLB53	1	
	サポート	RHEL 基本 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR**02	1	1
		RHEL 基本 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK**02	1	
		RHEL wSV 基本	Red Hat Enterprise Linux wSV 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限	PYBSPM**02	1	
		RHEL VDC 基本	Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD**02	1	
		RHEL 基本 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN**02	1	
		RHEL 拡張 2CPU/1ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト	PYBSPR5*E2	1	
		RHEL 拡張 2CPU/4ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト	PYBSPK5*E2	1	
		RHEL wSV 拡張	Red Hat Enterprise Linux wSV 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限	PYBSPM5*E2	1	
		RHEL VDC 拡張	Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限(ゲスト専用)	PYBSPD5*E2	1	
		RHEL 拡張 2ゲスト	Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)	PYBSPN5*E2	1	
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5SD1	4	4 (※1)
		vS5S 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5SA1	4	
		vS5E 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5ED1	4	
		vS5E 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5EA1	4	
		vS5EP 1年平日	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5PD1	4	
		vS5EP 1年24時間	VMware vSphere 5 Enterprise Plus, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5PA1	4	
	バンドル	vS5SLE 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5LD1	1	1
		vS5SLE 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5LA1	1	
		vS5SLE vCen 1年平日	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5CD1	1	
		vS5SLE vCen 1年24時間	VMware vSphere 5 Standard Limited Edition with vCenter Foundation, 1CPU 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5CA1	1	
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間平日サポートバンドル	PYBVL5SD1	1	1
		vCen 1年24時間	VMware vCenter Server 5 Standard, 1年間24時間サポートバンドル	PYBVL5SA1	1	
		vS5 UFM5.5	VMware vSphere Hypervisor 5.5用 USB Flash モジュール	PYBUFV52	1	1
		vS5 UFM5.1	VMware vSphere Hypervisor 5.1用 USB Flash モジュール	PYBUFV51	1	

(*1) 搭載する機器の物理CPU数までの手配となります。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションの同時選択可否について

・OSオプションを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります
 (機種により選択可能なOSオプションは異なりますので、樹系図表紙の「サポートOS」、および樹系図内の「OSオプション」をご確認の上、手配ください)。

■ Windows

OSオプション			インストール									Windows												
			WS12RS	WS12RS (Hyper-V)	WSS12RS	WS12S	WS12S (Hyper-V)	WS08RS	WS08RS (DG)	WS08S (DG)	WS08RF	WS12RS	WS12RD	WS12RF	WS12RE	WS12S	WS12D	WS12F	WS12E	WS12S Add	WS12D Add	WSS12RS Add	WS08RS	
OSオプション	インストール		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×			
Windows	インストール	WS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		
		WS12RS(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		
		WSS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
		WS12S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		
		WS12S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		
		WS08RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
		WS08RS(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08S(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	バンドル	WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
		WS12RD	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
		WS12D	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S Add	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×
		WS12D Add	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		WSS12RS Add	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
		WS08RS	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS08RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		WS08RD(2CPU)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS08RD(4CPU)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	メディア キット	WS12S	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS08RS	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	
		WS08RE	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	
		WS08S	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		WS08E	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	
	OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		DCAL1/5/10/50	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		RDSUCAL1/5/10/50	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		RSDCAL1/5/10/50	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		SQL2012 (サーバー/CAL)	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		SQL2014 (サーバー/CAL)	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		SQL UCAL1/5	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		SQL DCAL1/5	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
		HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		Linux	バンドル	RHEL7.0(*1)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×
RHEL6.5(*1)	×			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
RHEL6.4(*1)	×			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
RHEL5.10(*1)	×			×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
RHEL5.9(*1)	×			×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
VMware	バンドル	vSSS 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSS 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSEP 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSEP 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE vCen 1年平日	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSSE vCen 1年24時間	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
	OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vCen 1年24時間	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSS UFM5.5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	
		vSS UFM5.1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	

○:同時手配可、×:同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Windows

OSオプション			Windows																					
			バンドル						メディアキット					OS管理ソフト等										
OSオプション			WS08RE	WS08RD (2CPU)	WS08RD (4CPU)	WS08RH Suite	WS08RH	WS08RF	WS12S	WS08RS	WS08RE	WS08S	WS08E	UCAL 1/5/10/50	DCAL 1/5/10/50	RDSUCAL 1/5/10/50	RSDCAL 1/5/10/50	SQL2012 (サーバ/ CAL)	SQL2014 (サーバ/ CAL)	SQL UCAL 1/5	SQL DCAL 1/5	HPC Enterprise		
Windows	インストール	WS12RS	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS12RS(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WSS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		WS12S	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS12S(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS08RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS08RS(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS08S(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
	バンドル	WS12RS	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS12RD	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
		WS12RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
		WS12S	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS12D	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
		WS12S Add	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		WS12D Add	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
		WSS12RS Add	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RS	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RE	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RD(2CPU)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RD(4CPU)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	
	メディア キット	WS12S	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RS	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08RE	×	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08S	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		WS08E	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
		OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×
	DCAL1/5/10/50	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×		
	RDSUCAL1/5/10/50	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	
	RSDCAL1/5/10/50	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
	SQL2012 (サーバ/ CAL)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	
	SQL2014 (サーバ/ CAL)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	
	SQL UCAL1/5	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	
	SQL DCAL1/5	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
	HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
Linux	バンドル	RHEL7.0(*1)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		RHEL6.5(*1)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		RHEL6.4(*1)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		RHEL5.10(*1)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		RHEL5.9(*1)	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
VMware	バンドル	vSS 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSS 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSSE 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSSE 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSSEP 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSSEP 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSLE 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSLE 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSLE vCen 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		vSLE vCen 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
	OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
	vCen 1年24時間	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×		
	vSS UFM5.5	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
	vSS UFM5.1	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	

○：同時手配可、×：同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard/Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

■ Linux/VMware

OSオプション			Linux					VMware										OS管理ソフト等					
			バンドル					バンドル															
			RHEL 7.0 (※1)	RHEL 6.5 (※1)	RHEL 6.4 (※1)	RHEL 5.10 (※1)	RHEL 5.9 (※1)	vSSS 1年平日	vSSS 1年24時間	vSSE 1年平日	vSSE 1年24時間	vSSEP 1年平日	vSSEP 1年24時間	vSSLE 1年平日	vSSLE 1年24時間	vSSLE vCen 1年平日	vSSLE vCen 1年24時間	vCen 1年平日	vCen 1年24時間	vS5 UFMS.5	vS5 UFMS.1		
OSオプション	Windows	インストール	WS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
			WS12RS(Hyper-V)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
			WSS12RS	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
			WS12S	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
			WS12S(Hyper-V)	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
			WS08RS	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
			WS08RS(DG)	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
			WS08S(DG)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
	バンドル	WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	
		WS12RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12RE	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12F	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12E	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS12S Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS12D Add	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WSS12RS Add	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RD(2CPU)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RD(4CPU)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RH Suite	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RH	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		WS08RF	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	メディア キット	WS12S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08RE	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08S	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		WS08E	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	OS管理 ソフト等	UCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		DCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSUCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		RDSDCAL1/5/10/50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		SQL2012 (サーバ/CAL)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL2014 (サーバ/CAL)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL UCAL1/5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		SQL DCAL1/5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
		HPC Enterprise	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
Linux		バンドル	RHEL7.0(※1)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	RHEL6.5(※1)		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL6.4(※1)		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL5.10(※1)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	RHEL5.9(※1)		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	VMware	バンドル	vSSS 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
			vSSS 1年24時間	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
			vSSE 1年平日	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
			vSSE 1年24時間	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
			vSSEP 1年平日	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○
vSSEP 1年24時間			○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
vSSLE 1年平日			○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	
vSSLE 1年24時間			○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	
vSSLE vCen 1年平日			○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	
vSSLE vCen 1年24時間			○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	
OS管理 ソフト等	vCen 1年平日	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○		
	vCen 1年24時間	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○		
	vS5 UFMS.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		
	vS5 UFMS.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

○: 同時手配可、×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須
また、同一版数のバンドル媒体を複数手配することはできません。

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

OSオプションとSupportDeskの同時選択可否について

・OSオプションとハードウェア用SupportDesk、OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は、以下のようになります
(機種により選択可能なOSオプション、SupportDeskは異なります)。

OSオプション	SupportDesk	ハードウェア用SupportDesk															OS用SupportDesk																	
		SupportDesk/バック Lite (営業未日以降訪問修理)				SupportDesk/バック Lite (当日訪問修理)				SupportDesk/バック Standard/Standard24 (OSサポートなし)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard/Standard24 (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/1ゲスト]				SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/4ゲスト]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux vSV 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2CPU/ゲスト無制限]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2GPU/ゲスト無制限]			SupportDesk Standard/Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート/ 拡張サポート (*3) 2ゲスト/ゲスト専用]]		
		3年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	1年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	
Windows	インストール	WS12RS	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS12RS (Hyper-V)	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WSS12RS	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS12S	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS12S (Hyper-V)	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS08RS	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS08RS(DG)	○		○				○				○				○			×			×			×			○			○		
		WS08S(DG)	○		○				○				○				○			×			×			×			×			×		
	バンドル	WS08RF	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS12RS	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS12RD	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WS12RF	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS12RE	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS12S	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS12D	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WS12F	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS12E	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS12S Add	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS12D Add	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WSS12RS Add	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS08RS	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS08RE	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WS08RD(2CPU)	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WS08RD(4CPU)	○		○				○				×				○			×			×			×			×			×		
		WS08RH Suite	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS08RH	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
		WS08RF	○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
	メディアキット	WS12S	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS08RS	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS08RE	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		WS08S	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○		
		WS08E	○		○				○				×				○			○			○			○			○			○		
		OS管理ソフト等	UCAL1/5/10/50	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○	
			DCAL1/5/10/50	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○	
			RDSUCAL1/5/10/50	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○	
			RDSDCAL1/5/10/50	○		○				○				○				○			○			○			○			○			○	
			SQL2012 (サーバー/CAL)	○		○				○				○				○			×			×			×			×			×	
	SQL2014 (サーバー/CAL)		○		○				○				○				○			×			×			×			×			×		
	SQL UCAL1/5		○		○				○				○				○			×			×			×			×			×		
	SQL DCAL1/5		○		○				○				○				○			×			×			×			×			×		
	HPC Enterprise		○		○				○				×				×			×			×			×			×			×		
	Linux		バンドル	RHEL7.0(*1)	×		×			○				×				○			○			○			○			○			○	
RHEL6.5(*1)		×			×			○				×				○			○			○			○			○			○			
RHEL6.4(*1)		×			×			○				×				○			○			○			○			○			○			
RHEL5.10(*1)		×			×			○				×				○			○			○			○			○			○			
RHEL5.9(*1)		×			×			○				×				○			○			○			○			○			○			
VMware	バンドル	vS5S 1年平日	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5S 1年24時間	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5E 1年平日	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5E 1年24時間	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5EP 1年平日	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5EP 1年24時間	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5LE 1年平日	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5LE 1年24時間	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5LE vCen 1年平日	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5LE vCen 1年24時間	×		×			○(*2)				×				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
	OS管理ソフト等	vCen 1年平日	×		×			○(*2)				○(*2)				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vCen 1年24時間	×		×			○(*2)				○(*2)				○(*2)			×			×			×			○(*2)			○(*2)			
		vS5 UFM5.5	○		○			○				×				○			×			×			×			○			○			
		vS5 UFM5.1	○		○			○				×				○			×			×			×			○			○			

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

(*1) 本OSオプション選択時は、SupportDesk Standard(Red Hat Enterprise Linux)との同時手配必須

(*2) VMwareのOSオプションに付帯するサポート時間帯と、同一サポート時間帯のSupportDeskを選択した場合のみ同時手配可能

(*3) 拡張サポートは5年のみ

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

Windows用SupportDesk		SupportDesk Standard (Windows Server)			SupportDesk Standard24 (Windows Server)			SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)			SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)		
Linux用SupportDesk		3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			×			○	○	○	×		
	3年							○	×	×			
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×			×			×			○	○	○
	3年										○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux wSV 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限]	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux wSV 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限]	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			×			○	×	×	×		
	4年							×	○	×			
	5年							×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×			×			×			○	×	×
	4年										×	○	×
	5年										×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×			×			×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×			×			×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux wSV 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限]	5年	×			×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux wSV 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限]	5年	×			×			×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×			×			×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×			×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×			×			×			×	×	○

○: 同時手配可 ×: 同時手配不可

留意事項

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

・OS用SupportDeskとハードウェア用SupportDeskを同時選択する際、組み合わせの可否は以下のようになります(機種により選択可能なSupportDeskは異なります)。

ハードウェア用SupportDesk		SupportDesk/バックLite (翌営業日以降訪問修理)	SupportDesk/バックLite (当日訪問修理)			SupportDesk/バック Standard (OSサポートなし)			SupportDesk/バック Standard24 (OSサポートなし)		
OS用SupportDesk		3年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年
SupportDesk Standard (Windows Server)	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server)	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard (Windows Server 仮想化対応)	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 (Windows Server 仮想化対応)	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×	×			○	○	○	×		
	3年					○	×	×			
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/1ゲスト]	1年	×	×			×			○	○	○
	3年								○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2CPU/4ゲスト]	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux wSV 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限]	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux wSV 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限]	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 基本サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×	×			○	×	×	×		
	4年					×	○	×			
	5年					×	×	○			
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 基本サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	3年	×	×			×			○	×	×
	4年								×	○	×
	5年								×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	×		×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/1ゲスト]	5年	×	×	×		×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	×		×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2CPU/4ゲスト]	5年	×	×	×		×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux wSV 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限]	5年	×	×	×		×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux wSV 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限]	5年	×	×	×		×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	×		×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux VDC 拡張サポート 2CPU/ゲスト無制限 (ゲスト専用)]	5年	×	×	×		×			×	×	○
SupportDesk Standard [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	×		×	×	○	×		
SupportDesk Standard24 [Red Hat Enterprise Linux 拡張サポート 2ゲスト(ゲスト専用)]	5年	×	×	×		×			×	×	○

○:同時手配可 ×:同時手配不可

システム構成図留意事項

※ OS により接続可能装置は異なります。詳細はハードウェア一覧を参照願います。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。
※各サーバにて使用可能なホストOSはサーバ本体のサポートOSに準じます。

・VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報をご確認ください。
弊社HP(<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/>)をご参照ください。

ゲストOS	ホストOS	WS08S/E/D-64 WS08RS/E/D	WS12S/D	WS12RS/D	RHEL5 (Intel64) (Xen) (※1)	RHEL6 (Intel64) (KVM)				RHEL7 (Intel64) (KVM)	VMware	
		Hyper-V	Hyper-V	Hyper-V	5.1～	～6.1	6.2/6.3	6.4	6.5	7.0	vS4	vS5
Windows	WS12RS	×	SPなし	SPなし	×	×			○	×	×	○
	WS12RD	×	SPなし	SPなし	×	×			○ (※6)	×	×	○
	WS12RF	×	×	×	×	×	×			×	×	×
	WS12RE	×	SPなし	SPなし	×	×			○ (※6)	×	×	×
	WS12S	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×			○	×	×	○
	WS12D	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×			○ (※6)	×	×	○
	WS12F	×	×	×	×	×				×		×
	WS12E	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×			○ (※6)	×		×
	WS08RS	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×			○	×		○
	WS08RE	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×			○ (※6)	×		○
	WS08RD	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×			○ (※6)	×		○
	WS08RF	×	×	×	×	×				×		×
	WS08S-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×			○	×		SPなし/SP2
	WS08E-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×			○ (※6)	×		SPなし/SP2
	WS08D-64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×			○ (※6)	×		SPなし/SP2
	WS08F-64	×	×	×	×	×				×		×
	WS08RW	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×			○	×		×
	WS08W-32/64	SP2 (※3)	SP2	SP2	×	×			○	×		×
	WS08RH	×	×	×	×	×			○	×		×
	WS08H-32	SP2 (※3)	×	×	×	×			○	×		×
	WS03RS/Sx64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			○	×		SP2
	WS03RE/Ex64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			○ (※6)	×		SP2
	WS03RD/Dx64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			○ (※6)	×		×
	WS03S/Sx64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			SP2	×		SP1/SP2
	WS03E/Ex64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			SP2 (※6)	×		SP1/SP2
	WS03D/Dx64	SP2 (※4)	SP2	SP2	×	×			SP2 (※6)	×		×
	WS03W-32	SP2	SP2	SP2	×	×			SP2	×		×
	WS00S/AS	×	×	×	×	×				×	SP3/SP4 (※7)	SP4 (※7)
	WSNT4S	×	×	×	×	×				×		×
	W8.1	×	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W8.1P	×	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W8.1E	×	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W8	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W8P	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W8E	SPなし (※2)	SPなし	SPなし	×	×				×	×	○
	W7HP	×	×	×	×	×				×	○	SPなし/SP1
	W7P/E/U	SP1 (※3)	SP1	SP1	×	×				×	○	SPなし/SP1
	WVHB/HP	×	×	×	×	×				×		SPなし/SP1/SP2
	WVB/E/U	×	×	×	×	×				×		SPなし/SP1/SP2
	WXPPx64	×	×	×	×	×				×		SP2
	WXPP	×	×	×	×	×				×		SP1/SP2/SP3
Linux	RHEL7(Intel64)	×	×	×	×	○				○	×	○
	RHEL6(x86/Intel64)	6.4以降 (※8)	6.4以降	6.4以降	×	○				○		○
	RHEL5(x86/Intel64)	5.9以降 (※8)	5.9以降	5.9以降	～5.x (※5)				5.3～	5.3～		○
	RHEL ES/AS4(x86/EM64T)	×	×	×	4.6～				4.8～	4.8～	4.3～	×
Linux	RHEL ES/AS3(x86)	×	×	×	×				3.9～	×		×

○: サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります) ×: サポート対象外を示す。

(※1) ホストOS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用ください。

(※2) ホストOSが Windows Server 2008 R2 の場合は、Hyper-V のゲストOSとして Windows 8 もしくは Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用いただく必要があります。

詳細はMicrosoft社の情報をご確認ください。Microsoft社 HP(<http://support.microsoft.com/kb/2744129>)

ホストOSが Windows Server 2008 の場合は、Hyper-V のゲストOSとして Windows 8 もしくは Windows Server 2012 をお使いになるために KB-2744129 を適用してもサポートされません

(サポート技術情報 KB2744129 に対する、Microsoft社の回答 (2013/12/5) に基づき記載)。

(※3) 1,2,3,4CPUで動作可能となります。

(※4) 1,2CPUで動作可能となります。

(※5) ゲストOS版数は、ホストOS版数のマイナーバージョンまでとなります(例:ホストOSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です)。

(※6) KVM上のWindowsゲストでは、MSCS(Microsoft Cluster Server) / MSFC(Microsoft Failover Cluster)を使用したクラス構成はサポート対象外となります。

(※7) Windows Server® 2000 Advanced Server を除く。

(※8) WS08S/E/D-64 を除く。

システム構成図で紹介するWeb情報

分類内容	内容/URL
PRIMERGY情報サイト	http://jp.fujitsu.com/primergy/
PRIMERGYコンフィグ(システム構成ツール)	製品ラインナップからモデルを選択し「構成・価格」ボタンからコンフィグに入り、構成部品を選択するだけで、構成リストと価格がExcel形式で出力できます。 http://jp.fujitsu.com/primergy/
ServerView Suite ServerView Suite DVD	システムの構築、制御、最適化、保守、連携を行う、サーバ運用管理の総称です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/ サーバ運用管理はDVDで提供され、新製品のサポートや不具合修正などで定期的に更新されます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/
オプション選択指針 SATA HDDの選択・使用条件 USBメモリを必要とする作業	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/harddisk/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/
OSのサポート情報、動作確認情報 Windows Linux VMware 未サポートOS情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/linux/products/distribution/free-os.html
ダウンロード	最新のソフトウェア/ドライバやBIOS/ファームウェアがダウンロードできます。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/
ラック情報	19インチラック関連情報や他社製ラックへの搭載などの情報です。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/
技術情報 性能情報 消費電力計算ツール	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/performance/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/technical/calculate/
サポート情報 重要なお知らせ 製品保証ご案内 製品の販売終息と保守終了情報 セキュリティ情報	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/repair.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/terminate/ http://www.fmworld.net/biz/security/
サービス情報 運用・保守サポート SupportDesk(PRIMERGY) ハードウェア組み込みサービス インフラ基本導入サービス	http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/supportdesk.html http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/service/hard-builtin/ http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/service/infra-basic.html
マニュアル	ServerView Suite ServerBooks に主要なマニュアルが格納されています。 また、モデル個別マニュアルやオプションマニュアルなどが別途あります。 http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/
消耗品、データメディアの購入	DATテープ、データカートリッジ http://jp.fujitsu.com/group/coworco/services/supply/media/

[illegible]